

市内 6 か所における空間放射線量測定結果（7/4 公表）

市内 6 か所（市施設 5 か所と武蔵野大学 1 か所の合計）における放射線量の測定結果をお知らせします。なお、栄小学校は 7 月 4 日、なかまち保育園は 7 月 5 日に初回を測定し、他の測定場所と併せて 7 月 11 日に公表する予定です。

区分	測定場所	町	測定日	線量率 (マイクロシーベルト/時)	
				地上 1 m	地表面 (地上 5 c m)
中央部	田無第二中学校	北原町	6 月 29 日(水)	0.06	0.05
西部	田無第三中学校	西原町	6 月 30 日(木)	0.06	0.08
南西部	田無市民公園	向台町	7 月 1 日(金)	0.04	0.05
南部	武蔵野大学(協力)	新町	6 月 29 日(水)	0.06	0.05

市が使用した測定機器は、DoseRAE2 PRM-1200、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 1 東京都による西東京市内の測定結果（田無第二中学校 6 月 16 日（木）測定）

地上 1 m	0.04 マイクロシーベルト/時
地表面（地上 5 c m）	0.04 マイクロシーベルト/時

都が使用した測定機器は、アロカ TCS-166、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 2 測定機器（市：DoseRAE2 PRM-1200 と都：アロカ TCS-166）の違い

測定値の違いについては、測定している単位が違うことから DoseRAE2 の値は若干高い値となります。

機種	単位
TCS-166	空気吸収線量率 $\mu\text{Gy/h}$
DoseRAE2	1 c m線量当量率 $\mu\text{Sv/h}$

DoseRAE2 は人への影響を加味した 1 c m線量当量率（ $\mu\text{Sv/h}$ ）で測定します。これは、ガンマ線による個人の外部被ばくを管理するための機器であり、安全側に評価するように調整されているため、実効線量より高めの数値を示します。

実際の DoseRAE2 の測定結果は、TCS-166 の結果に対して、地上 1 m では平均 1.46 倍、地上 5 c m での測定では、平均 1.38 倍でした。

東京都健康安全研究センターのホームページより転載しています。詳しい情報は、同ホームページ内「H23.6.22 測定器貸与の説明会資料（東京都福祉保健局）」をご覧ください。

市内 6 か所における空間放射線量測定結果 (7 / 8 公表)

市内 6 か所 (市施設 5 か所と武蔵野大学 1 か所の合計) における放射線量の測定結果をお知らせします。

区分	測定場所	町	測定日	線量率 (マイクロシーベルト / 時)	
				地上 1 m	地表面 (地上 5 c m)
北部	栄小学校	栄町	7月4日(月)	0.06	0.05
東部	なかまち保育園	中町	7月5日(火)	0.06	0.06
中央部	田無第二中学校	北原町	7月6日(水)	0.07	0.05
西部	田無第三中学校	西原町	7月7日(木)	0.07	0.06
南西部	田無市民公園	向台町	7月8日(金)	0.05	0.06
南部	武蔵野大学(協力)	新町	7月6日(水)	0.05	0.04

市が使用した測定機器は、DoseRAE2 PRM-1200、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 1 東京都による西東京市内の測定結果 (田無第二中学校 6月16日(木)測定)

地上 1 m	0.04 マイクロシーベルト / 時
地表面 (地上 5 c m)	0.04 マイクロシーベルト / 時

都が使用した測定機器は、アロカ TCS-166、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 2 測定機器 (市 : DoseRAE2 PRM-1200 と都 : アロカ TCS-166) の違い

測定値の違いについては、測定している単位が違うことから DoseRAE2 の値は若干高い値となります。

機種	単位
TCS-166	空気吸収線量率 $\mu\text{Gy/h}$
DoseRAE2	1 c m線量当量率 $\mu\text{Sv/h}$

DoseRAE2 は人への影響を加味した 1 c m線量当量率 ($\mu\text{Sv/h}$) で測定します。これは、ガンマ線による個人の外部被ばくを管理するための機器であり、安全側に評価するように調整されているため、実効線量より高めの数値を示します。

実際の DoseRAE2 の測定結果は、TCS-166 の結果に対して、地上 1 m では平均 1.46 倍、地上 5 c m での測定では、平均 1.38 倍でした。

東京都健康安全研究センターのホームページより転載しています。詳しい情報は、同ホームページ内「H23.6.22 測定器貸与の説明会資料 (東京都福祉保健局)」をご覧ください。

市内 6 か所における空間放射線量測定結果（7/15 公表）

市内 6 箇所（市測定 5 箇所と武蔵野大学協力測定 1 箇所の合計）における放射線量の測定結果をお知らせします。

区分	測定場所	町	測定日	線量率 (マイクロシーベルト/時)	
				地上 1 m	地表面 (地上 5 c m)
北部	栄小学校	栄町	7月11日(月)	0.06	0.05
東部	なかまち保育園	中町	7月12日(火)	0.05	0.04
中央部	田無第二中学校	北原町	7月13日(水)	0.06	0.04
西部	田無第三中学校	西原町	7月14日(木)	0.06	0.06
南西部	田無市民公園	向台町	7月15日(金)	0.06	0.07
南部	武蔵野大学(協力)	新町	7月13日(水)	0.04	0.03

市が使用した測定機器は、DoseRAE2 PRM-1200、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 1 東京都による西東京市内の測定結果（田無第二中学校 6月16日(木)測定）

地上 1 m	0.04 マイクロシーベルト/時
地表面（地上 5 c m）	0.04 マイクロシーベルト/時

都が使用した測定機器は、アロカ TCS-166、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 2 測定機器（市：DoseRAE2 PRM-1200 と都：アロカ TCS-166）の違い

測定値の違いについては、測定している単位が違うことから DoseRAE2 の値は若干高い値となります。

機種	単位
TCS-166	空気吸収線量率 $\mu\text{Gy/h}$
DoseRAE2	1 c m線量当量率 $\mu\text{Sv/h}$

DoseRAE2 は人への影響を加味した 1 c m線量当量率（ $\mu\text{Sv/h}$ ）で測定します。これは、ガンマ線による個人の外部被ばくを管理するための機器であり、安全側に評価するように調整されているため、実効線量より高めの数値を示します。

実際の DoseRAE2 の測定結果は、TCS-166 の結果に対して、地上 1 m では平均 1.46 倍、地上 5 c m での測定では、平均 1.38 倍でした。

東京都健康安全研究センターのホームページより転載しています。詳しい情報は、同ホームページ内「H23.6.22 測定器貸与の説明会資料（東京都福祉保健局）」をご覧ください。

市内 6 か所における空間放射線量測定結果（7/22 公表）

市内 6 箇所（市測定 5 箇所と武蔵野大学協力測定 1 箇所の合計）における放射線量の測定結果をお知らせします。

月曜日測定の北部・栄小学校は 7/18 が祝日であったため、次回は 7/25 に測定予定です。

区分	測定場所	町	測定日	線量率 (マイクロシーベルト/時)	
				地上 1 m	地表面 (地上 5 c m)
東部	なかまち保育園	中町	7月19日(火)	0.08	0.09
中央部	田無第二中学校	北原町	7月20日(水)	0.07	0.06
西部	田無第三中学校	西原町	7月21日(木)	0.07	0.08
南西部	田無市民公園	向台町	7月22日(金)	0.07	0.05
南部	武蔵野大学(協力)	新町	7月20日(水)	0.05	0.04

市が使用した測定機器は、DoseRAE2 PRM-1200、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 1 東京都による西東京市内の測定結果（田無第二中学校 6月16日(木)測定）

地上 1 m	0.04 マイクロシーベルト/時
地表面（地上 5 c m）	0.04 マイクロシーベルト/時

都が使用した測定機器は、アロカ TCS-166、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 2 測定機器（市：DoseRAE2 PRM-1200 と都：アロカ TCS-166）の違い

測定値の違いについては、測定している単位が違うことから DoseRAE2 の値は若干高い値となります。

機種	単位
TCS-166	空気吸収線量率 $\mu\text{Gy/h}$
DoseRAE2	1 c m線量当量率 $\mu\text{Sv/h}$

DoseRAE2 は人への影響を加味した 1 c m線量当量率 ($\mu\text{Sv/h}$) で測定します。これは、ガンマ線による個人の外部被ばくを管理するための機器であり、安全側に評価するように調整されているため、実効線量より高めの数値を示します。

実際の DoseRAE2 の測定結果は、TCS-166 の結果に対して、地上 1 m では平均 1.46 倍、地上 5 c m での測定では、平均 1.38 倍でした。

東京都健康安全研究センターのホームページより転載しています。詳しい情報は、同ホームページ内「区市町村の測定への支援について（機器貸与等）」をご覧ください。

市内 6 か所における空間放射線量測定結果（7/29 公表）

市内 6 箇所（市測定 5 箇所と武蔵野大学協力測定 1 箇所の合計）における放射線量の測定結果をお知らせします。

区分	測定場所	町	測定日	線量率 (マイクロシーベルト/時)	
				地上 1 m	地表面 (地上 5 c m)
北部	栄小学校	栄町	7月25日(月)	0.06	0.04
東部	なかまち保育園	中町	7月26日(火)	0.07	0.07
中央部	田無第二中学校	北原町	7月27日(水)	0.06	0.05
西部	田無第三中学校	西原町	7月28日(木)	0.07	0.09
南西部	田無市民公園	向台町	7月29日(金)	0.06	0.05
南部	武蔵野大学(協力)	新町	7月27日(水)	0.05	0.05

市が使用した測定機器は、DoseRAE2 PRM-1200、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 1 東京都による西東京市内の測定結果（田無第二中学校 6月16日(木)測定）

地上 1 m	0.04 マイクロシーベルト/時
地表面（地上 5 c m）	0.04 マイクロシーベルト/時

都が使用した測定機器は、アロカ TCS-166、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 2 測定機器（市：DoseRAE2 PRM-1200 と都：アロカ TCS-166）の違い

測定値の違いについては、測定している単位が違うことから DoseRAE2 の値は若干高い値となります。

機種	単位
TCS-166	空気吸収線量率 $\mu\text{Gy/h}$
DoseRAE2	1 c m線量当量率 $\mu\text{Sv/h}$

DoseRAE2 は人への影響を加味した 1 c m線量当量率（ $\mu\text{Sv/h}$ ）で測定します。これは、ガンマ線による個人の外部被ばくを管理するための機器であり、安全側に評価するように調整されているため、実効線量より高めの数値を示します。

実際の DoseRAE2 の測定結果は、TCS-166 の結果に対して、地上 1 m では平均 1.46 倍、地上 5 c m での測定では、平均 1.38 倍でした。

東京都健康安全研究センターのホームページより転載しています。詳しい情報は、同ホームページ内「区市町村の測定への支援について（機器貸与等）」をご覧ください。

参考3 測定結果から1年間の積算線量を推計できます。

《条件》

- ・ 自然放射線量は全国平均値 0.05 マイクロシーベルト毎時と仮定
- ・ 測定した場所に 8 時間、その場所の木造家屋内に 16 時間居ると仮定
- ・ 木造家屋内滞在における被ばく低減効果を 60% (係数 0.4) と仮定

《算式》

(測定結果 - 自然放射線量 0.05) × (8 / 24 × 1.0 + 16 / 24 × 0.4) × 24 時間 × 365 日

市内 6 か所における空間放射線量測定結果（ 8 / 5 公表）

市内 6 箇所（市測定 5 箇所と武蔵野大学協力測定 1 箇所の合計）における放射線量の測定結果をお知らせします。

区分	測定場所	町	測定日	線量率 (マイクロシーベルト/時)	
				地上 1 m	地表面 (地上 5 c m)
北部	栄小学校	栄町	8 月 1 日(月)	0.07	0.07
東部	なかまち保育園	中町	8 月 2 日(火)	0.07	0.08
中央部	田無第二中学校	北原町	8 月 3 日(水)	0.07	0.07
西部	田無第三中学校	西原町	8 月 4 日(木)	0.07	0.06
南西部	田無市民公園	向台町	8 月 5 日(金)	0.06	0.06
南部	武蔵野大学(協力)	新町	8 月 3 日(水)	0.06	0.05

市が使用した測定機器は、DoseRAE2 PRM-1200、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 1 東京都による西東京市内の測定結果（田無第二中学校 6 月 16 日（木）測定）

地上 1 m	0.04 マイクロシーベルト/時
地表面（地上 5 c m）	0.04 マイクロシーベルト/時

都が使用した測定機器は、アロカ TCS-166、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 2 測定機器（市：DoseRAE2 PRM-1200 と都：アロカ TCS-166）の違い

測定値の違いについては、測定している単位が違うことから DoseRAE2 の値は若干高い値となります。

機種	単位
TCS-166	空気吸収線量率 $\mu\text{Gy/h}$
DoseRAE2	1 c m線量当量率 $\mu\text{Sv/h}$

DoseRAE2 は人への影響を加味した 1 c m線量当量率（ $\mu\text{Sv/h}$ ）で測定します。これは、ガンマ線による個人の外部被ばくを管理するための機器であり、安全側に評価するように調整されているため、実効線量より高めの数値を示します。

実際の DoseRAE2 の測定結果は、TCS-166 の結果に対して、地上 1 m では平均 1.46 倍、地上 5 c m での測定では、平均 1.38 倍でした。

東京都健康安全研究センターのホームページより転載しています。詳しい情報は、同ホームページ内「区市町村の測定への支援について（機器貸与等）」をご覧ください。

参考3 測定結果から1年間の積算線量を推計できます。

《条件》

- ・ 自然放射線量は全国平均値 0.05 マイクロシーベルト毎時と仮定
- ・ 測定した場所に 8 時間、その場所の木造家屋内に 16 時間居ると仮定
- ・ 木造家屋内滞在における被ばく低減効果を 60% (係数 0.4) と仮定

《算式》

(測定結果 - 自然放射線量 0.05) × (8 / 24 × 1.0 + 16 / 24 × 0.4) × 24 時間 × 365 日

市内 6 か所における空間放射線量測定結果（8/12 公表）

市内 6 箇所（市測定 5 箇所と武蔵野大学協力測定 1 箇所の合計）における放射線量の測定結果をお知らせします。

区分	測定場所	町	測定日	線量率 (マイクロシーベルト/時)	
				地上 1 m	地表面 (地上 5 c m)
北部	栄小学校	栄町	8月8日(月)	0.07	0.06
東部	なかまち保育園	中町	8月9日(火)	0.05	0.05
中央部	田無第二中学校	北原町	8月10日(水)	0.05	0.05
西部	田無第三中学校	西原町	8月11日(木)	0.06	0.06
南西部	田無市民公園	向台町	8月12日(金)	0.05	0.05
南部	武蔵野大学(協力)	新町	8月10日(水)	0.04	0.05

市が使用した測定機器は、DoseRAE2 PRM-1200、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 1 東京都による西東京市内の測定結果（田無第二中学校 6月16日(木)測定）

地上 1 m	0.04 マイクロシーベルト/時
地表面（地上 5 c m）	0.04 マイクロシーベルト/時

都が使用した測定機器は、アロカ TCS-166、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 2 測定機器（市：DoseRAE2 PRM-1200 と都：アロカ TCS-166）の違い

測定値の違いについては、測定している単位が違うことから DoseRAE2 の値は若干高い値となります。

機種	単位
TCS-166	空気吸収線量率 $\mu\text{Gy/h}$
DoseRAE2	1 c m線量当量率 $\mu\text{Sv/h}$

DoseRAE2 は人への影響を加味した 1 c m線量当量率（ $\mu\text{Sv/h}$ ）で測定します。これは、ガンマ線による個人の外部被ばくを管理するための機器であり、安全側に評価するように調整されているため、実効線量より高めの数値を示します。

実際の DoseRAE2 の測定結果は、TCS-166 の結果に対して、地上 1 m では平均 1.46 倍、地上 5 c m での測定では、平均 1.38 倍でした。

東京都健康安全研究センターのホームページより転載しています。詳しい情報は、同ホームページ内「区市町村の測定への支援について（機器貸与等）」をご覧ください。

参考3 測定結果から1年間の積算線量を推計できます。

《条件》

- ・ 自然放射線量は全国平均値 0.05 マイクロシーベルト毎時と仮定
- ・ 測定した場所に 8 時間、その場所の木造家屋内に 16 時間居ると仮定
- ・ 木造家屋内滞在における被ばく低減効果を 60% (係数 0.4) と仮定

《算式》

(測定結果 - 自然放射線量 0.05) × (8 / 24 × 1.0 + 16 / 24 × 0.4) × 24 時間 × 365 日

市内 6 か所における空間放射線量測定結果（ 8 / 19 公表）

市内 6 箇所（市測定 5 箇所と武蔵野大学協力測定 1 箇所の合計）における放射線量の測定結果をお知らせします。

区分	測定場所	町	測定日	線量率 (マイクロシーベルト/時)	
				地上 1 m	地表面 (地上 5 c m)
北部	栄小学校	栄町	8 月 15 日(月)	0.05	0.04
東部	なかまち保育園	中町	8 月 16 日(火)	0.05	0.04
中央部	田無第二中学校	北原町	8 月 17 日(水)	0.07	0.05
西部	田無第三中学校	西原町	8 月 18 日(木)	0.05	0.04
南西部	田無市民公園	向台町	8 月 19 日(金)	0.06	0.07
南部	武蔵野大学(協力)	新町	8 月 17 日(水)	0.05	0.04

市が使用した測定機器は、DoseRAE2 PRM-1200、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 1 東京都による西東京市内の測定結果（田無第二中学校 6 月 16 日（木）測定）

地上 1 m	0.04 マイクロシーベルト/時
地表面（地上 5 c m）	0.04 マイクロシーベルト/時

都が使用した測定機器は、アロカ TCS-166、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 2 測定機器（市：DoseRAE2 PRM-1200 と都：アロカ TCS-166）の違い

測定値の違いについては、測定している単位が違うことから DoseRAE2 の値は若干高い値となります。

機種	単位
TCS-166	空気吸収線量率 $\mu\text{Gy/h}$
DoseRAE2	1 c m線量当量率 $\mu\text{Sv/h}$

DoseRAE2 は人への影響を加味した 1 c m線量当量率（ $\mu\text{Sv/h}$ ）で測定します。これは、ガンマ線による個人の外部被ばくを管理するための機器であり、安全側に評価するように調整されているため、実効線量より高めの数値を示します。

実際の DoseRAE2 の測定結果は、TCS-166 の結果に対して、地上 1 m では平均 1.46 倍、地上 5 c m での測定では、平均 1.38 倍でした。

東京都健康安全研究センターのホームページより転載しています。詳しい情報は、同ホームページ内「区市町村の測定への支援について（機器貸与等）」をご覧ください。

参考3 測定結果から1年間の積算線量を推計できます。

《条件》

- ・ 自然放射線量は全国平均値 0.05 マイクロシーベルト毎時と仮定
- ・ 測定した場所に 8 時間、その場所の木造家屋内に 16 時間居ると仮定
- ・ 木造家屋内滞在における被ばく低減効果を 60% (係数 0.4) と仮定

《算式》

(測定結果 - 自然放射線量 0.05) × (8 / 24 × 1.0 + 16 / 24 × 0.4) × 24 時間 × 365 日

市内 6 か所における空間放射線量測定結果（ 8 /26 公表）

市内 6 箇所（市測定 5 箇所と武蔵野大学協力測定 1 箇所の合計）における放射線量の測定結果をお知らせします。

区分	測定場所	町	測定日	線量率 (マイクロシーベルト/時)	
				地上 1 m	地表面 (地上 5 c m)
北部	栄小学校	栄町	8月22日(月)	0.08	0.08
東部	なかまち保育園	中町	8月23日(火)	0.07	0.06
中央部	田無第二中学校	北原町	8月24日(水)	0.07	0.06
西部	田無第三中学校	西原町	8月25日(木)	0.07	0.07
南西部	田無市民公園	向台町	8月26日(金)	0.06	0.05
南部	武蔵野大学(協力)	新町	8月24日(水)	0.05	0.05

市が使用した測定機器は、DoseRAE2 PRM-1200、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 1 東京都による西東京市内の測定結果（田無第二中学校 6月16日(木)測定）

地上 1 m	0.04 マイクロシーベルト/時
地表面(地上 5 c m)	0.04 マイクロシーベルト/時

都が使用した測定機器は、アロカ TCS-166、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 2 測定機器（市：DoseRAE2 PRM-1200 と都：アロカ TCS-166）の違い

測定値の違いについては、測定している単位が違うことから DoseRAE2 の値は若干高い値となります。

機種	単位
TCS-166	空気吸収線量率 $\mu\text{Gy/h}$
DoseRAE2	1 c m線量当量率 $\mu\text{Sv/h}$

DoseRAE2 は人への影響を加味した 1 c m線量当量率 ($\mu\text{Sv/h}$) で測定します。これは、ガンマ線による個人の外部被ばくを管理するための機器であり、安全側に評価するように調整されているため、実効線量より高めの数値を示します。

実際の DoseRAE2 の測定結果は、TCS-166 の結果に対して、地上 1 m では平均 1.46 倍、地上 5 c m での測定では、平均 1.38 倍でした。

東京都健康安全研究センターのホームページより転載しています。詳しい情報は、同ホームページ内「区市町村の測定への支援について（機器貸与等）」をご覧ください。

参考3 測定結果から1年間の積算線量を推計できます。

《条件》

- ・ 自然放射線量は全国平均値 0.05 マイクロシーベルト毎時と仮定
- ・ 測定した場所に 8 時間、その場所の木造家屋内に 16 時間居ると仮定
- ・ 木造家屋内滞在における被ばく低減効果を 60% (係数 0.4) と仮定

《算式》

(測定結果 - 自然放射線量 0.05) × (8 / 24 × 1.0 + 16 / 24 × 0.4) × 24 時間 × 365 日

市内 6 か所における空間放射線量測定結果（9 / 2 公表）

市内 6 箇所（市測定 5 箇所と武蔵野大学協力測定 1 箇所の合計）における放射線量の測定結果をお知らせします。

区分	測定場所	町	測定日	線量率 (マイクロシーベルト/時)	
				地上 1 m	地表面 (地上 5 c m)
北部	栄小学校	栄町	8 月 29 日(月)	0.06	0.05
東部	なかまち保育園	中町	8 月 30 日(火)	0.06	0.04
中央部	田無第二中学校	北原町	8 月 31 日(水)	0.07	0.07
西部	田無第三中学校	西原町	9 月 1 日(木)	0.07	0.07
南西部	田無市民公園	向台町	9 月 2 日(金)	0.06	0.06
南部	武蔵野大学(協力)	新町	8 月 31 日(水)	0.06	0.05

市が使用した測定機器は、DoseRAE2 PRM-1200、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 1 東京都による西東京市内の測定結果（田無第二中学校 6 月 16 日（木）測定）

地上 1 m	0.04 マイクロシーベルト/時
地表面（地上 5 c m）	0.04 マイクロシーベルト/時

都が使用した測定機器は、アロカ TCS-166、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 2 測定機器（市：DoseRAE2 PRM-1200 と都：アロカ TCS-166）の違い

測定値の違いについては、測定している単位が違うことから DoseRAE2 の値は若干高い値となります。

機種	単位
TCS-166	空気吸収線量率 $\mu\text{Gy/h}$
DoseRAE2	1 c m 線量当量率 $\mu\text{Sv/h}$

DoseRAE2 は人への影響を加味した 1 c m 線量当量率（ $\mu\text{Sv/h}$ ）で測定します。これは、ガンマ線による個人の外部被ばくを管理するための機器であり、安全側に評価するように調整されているため、実効線量より高めの数値を示します。

実際の DoseRAE2 の測定結果は、TCS-166 の結果に対して、地上 1 m では平均 1.46 倍、地上 5 c m での測定では、平均 1.38 倍でした。

東京都健康安全研究センターのホームページより転載しています。詳しい情報は、同ホームページ内「区市町村の測定への支援について（機器貸与等）」をご覧ください。

参考3 測定結果から1年間の積算線量を推計できます。

《条件》

- ・ 自然放射線量は全国平均値 0.05 マイクロシーベルト毎時と仮定
- ・ 測定した場所に 8 時間、その場所の木造家屋内に 16 時間居ると仮定
- ・ 木造家屋内滞在における被ばく低減効果を 60% (係数 0.4) と仮定

《算式》

(測定結果 - 自然放射線量 0.05) × (8 / 24 × 1.0 + 16 / 24 × 0.4) × 24 時間 × 365 日

市内 6 か所における空間放射線量測定結果（9 / 9 公表）

市内 6 箇所（市測定 5 箇所と武蔵野大学協力測定 1 箇所の合計）における放射線量の測定結果をお知らせします。

区分	測定場所	町	測定日	線量率 (マイクロシーベルト/時)	
				地上 1 m	地表面 (地上 5 c m)
北部	栄小学校	栄町	9月5日(月)	0.09	0.09
東部	なかまち保育園	中町	9月6日(火)	0.07	0.07
中央部	田無第二中学校	北原町	9月7日(水)	0.05	0.07
西部	田無第三中学校	西原町	9月8日(木)	0.07	0.06
南西部	田無市民公園	向台町	9月9日(金)	0.06	0.06
南部	武蔵野大学(協力)	新町	9月7日(水)	0.06	0.05

市が使用した測定機器は、DoseRAE2 PRM-1200、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 1 東京都による西東京市内の測定結果（田無第二中学校 6月16日(木)測定）

地上 1 m	0.04 マイクロシーベルト/時
地表面(地上 5 c m)	0.04 マイクロシーベルト/時

都が使用した測定機器は、アロカ TCS-166、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 2 測定機器（市：DoseRAE2 PRM-1200 と都：アロカ TCS-166）の違い

測定値の違いについては、測定している単位が違うことから DoseRAE2 の値は若干高い値となります。

機種	単位
TCS-166	空気吸収線量率 $\mu\text{Gy/h}$
DoseRAE2	1 c m線量当量率 $\mu\text{Sv/h}$

DoseRAE2 は人への影響を加味した 1 c m線量当量率 ($\mu\text{Sv/h}$) で測定します。これは、ガンマ線による個人の外部被ばくを管理するための機器であり、安全側に評価するように調整されているため、実効線量より高めの数値を示します。

実際の DoseRAE2 の測定結果は、TCS-166 の結果に対して、地上 1 m では平均 1.46 倍、地上 5 c m での測定では、平均 1.38 倍でした。

東京都健康安全研究センターのホームページより転載しています。詳しい情報は、同ホームページ内「区市町村の測定への支援について（機器貸与等）」をご覧ください。

参考3 測定結果から1年間の積算線量を推計できます。

《条件》

- ・ 自然放射線量は全国平均値 0.05 マイクロシーベルト毎時と仮定
- ・ 測定した場所に 8 時間、その場所の木造家屋内に 16 時間居ると仮定
- ・ 木造家屋内滞在における被ばく低減効果を 60% (係数 0.4) と仮定

《算式》

(測定結果 - 自然放射線量 0.05) × (8 / 24 × 1.0 + 16 / 24 × 0.4) × 24 時間 × 365 日

市内 6 か所における空間放射線量測定結果（9/16 公表）

市内 6 箇所（市測定 5 箇所と武蔵野大学協力測定 1 箇所の合計）における放射線量の測定結果をお知らせします。

区分	測定場所	町	測定日	線量率 (マイクロシーベルト/時)	
				地上 1 m	地表面 (地上 5 c m)
北部	栄小学校	栄町	9月12日(月)	0.07	0.08
東部	なかまち保育園	中町	9月13日(火)	0.05	0.05
中央部	田無第二中学校	北原町	9月14日(水)	0.06	0.07
西部	田無第三中学校	西原町	9月15日(木)	0.06	0.05
南西部	田無市民公園	向台町	9月16日(金)	0.05	0.06
南部	武蔵野大学(協力)	新町	9月14日(水)	0.06	0.05

市が使用した測定機器は、DoseRAE2 PRM-1200、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 1 東京都による西東京市内の測定結果（田無第二中学校 6月16日(木)測定）

地上 1 m	0.04 マイクロシーベルト/時
地表面（地上 5 c m）	0.04 マイクロシーベルト/時

都が使用した測定機器は、アロカ TCS-166、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 2 測定機器（市：DoseRAE2 PRM-1200 と都：アロカ TCS-166）の違い

測定値の違いについては、測定している単位が違うことから DoseRAE2 の値は若干高い値となります。

機種	単位
TCS-166	空気吸収線量率 $\mu\text{Gy/h}$
DoseRAE2	1 c m線量当量率 $\mu\text{Sv/h}$

DoseRAE2 は人への影響を加味した 1 c m線量当量率（ $\mu\text{Sv/h}$ ）で測定します。これは、ガンマ線による個人の外部被ばくを管理するための機器であり、安全側に評価するように調整されているため、実効線量より高めの数値を示します。

実際の DoseRAE2 の測定結果は、TCS-166 の結果に対して、地上 1 m では平均 1.46 倍、地上 5 c m での測定では、平均 1.38 倍でした。

東京都健康安全研究センターのホームページより転載しています。詳しい情報は、同ホームページ内「区市町村の測定への支援について（機器貸与等）」をご覧ください。

参考3 測定結果から1年間の積算線量を推計できます。

《条件》

- ・ 自然放射線量は全国平均値 0.05 マイクロシーベルト毎時と仮定
- ・ 測定した場所に 8 時間、その場所の木造家屋内に 16 時間居ると仮定
- ・ 木造家屋内滞在における被ばく低減効果を 60% (係数 0.4) と仮定

《算式》

(測定結果 - 自然放射線量 0.05) × (8 / 24 × 1.0 + 16 / 24 × 0.4) × 24 時間 × 365 日

市内 6 か所における空間放射線量測定結果（9/22 公表）

市内 6 箇所（市測定 5 箇所と武蔵野大学協力測定 1 箇所の合計）における放射線量の測定結果をお知らせします。

月曜日測定の北部・栄小学校及び金曜日測定の南西部・田無市民公園が祝日であったため、次回は 9/26 及び 9/30 に測定予定です。

水曜日測定の中央部・田無第二中学校及び南部・武蔵野大学（協力）は台風のため測定できませんでした。次回は 9/28 に測定予定です。

区分	測定場所	町	測定日	線量率 (マイクロシーベルト/時)	
				地上 1 m	地表面 (地上 5 c m)
東部	なかまち保育園	中町	9月20日(火)	0.08	0.09
西部	田無第三中学校	西原町	9月22日(木)	0.08	0.08

市が使用した測定機器は、DoseRAE2 PRM-1200、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 1 東京都による西東京市内の測定結果（田無第二中学校 6月16日（木）測定）

地上 1 m	0.04 マイクロシーベルト/時
地表面（地上 5 c m）	0.04 マイクロシーベルト/時

都が使用した測定機器は、アロカ TCS-166、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 2 測定機器（市：DoseRAE2 PRM-1200 と都：アロカ TCS-166）の違い

測定値の違いについては、測定している単位が違うことから DoseRAE2 の値は若干高い値となります。

機種	単位
TCS-166	空気吸収線量率 $\mu\text{Gy/h}$
DoseRAE2	1 c m線量当量率 $\mu\text{Sv/h}$

DoseRAE2 は人への影響を加味した 1 c m線量当量率（ $\mu\text{Sv/h}$ ）で測定します。これは、ガンマ線による個人の外部被ばくを管理するための機器であり、安全側に評価するように調整されているため、実効線量より高めの数値を示します。

実際の DoseRAE2 の測定結果は、TCS-166 の結果に対して、地上 1 m では平均 1.46 倍、地上 5 c m での測定では、平均 1.38 倍でした。

東京都健康安全研究センターのホームページより転載しています。詳しい情報は、同ホームページ内「区市町村の測定への支援について（機器貸与等）」をご覧ください。

参考3 測定結果から1年間の積算線量を推計できます。

《条件》

- ・ 自然放射線量は全国平均値 0.05 マイクロシーベルト毎時と仮定
- ・ 測定した場所に 8 時間、その場所の木造家屋内に 16 時間居ると仮定
- ・ 木造家屋内滞在における被ばく低減効果を 60% (係数 0.4) と仮定

《算式》

(測定結果 - 自然放射線量 0.05) × (8 / 24 × 1.0 + 16 / 24 × 0.4) × 24 時間 × 365 日

市内6か所における空間放射線量測定結果（9/30公表）

市内6箇所（市測定5箇所と武蔵野大学協力測定1箇所の合計）における放射線量の測定結果をお知らせします。

区分	測定場所	町	測定日	線量率 (マイクロシーベルト/時)	
				地上1 m	地表面 (地上5 c m)
北部	栄小学校	栄町	9月26日(月)	0.08	0.09
東部	なかまち保育園	中町	9月27日(火)	0.07	0.08
中央部	田無第二中学校	北原町	9月28日(水)	0.06	0.07
西部	田無第三中学校	西原町	9月29日(木)	0.06	0.06
南西部	田無市民公園	向台町	9月30日(金)	0.06	0.06
南部	武蔵野大学(協力)	新町	9月28日(水)	0.05	0.06

※ 市が使用した測定機器は、DoseRAE2 PRM-1200、測定線種はガンマ線です。

※ 線量率は、30秒ごとに5回の繰り返し測定による平均値です。

参考1 東京都による西東京市内の測定結果（田無第二中学校 6月16日（木）測定）

地上1 m	0.04 マイクロシーベルト/時
地表面（地上5 c m）	0.04 マイクロシーベルト/時

※ 都が使用した測定機器は、アロカ TCS-166、測定線種はガンマ線です。

※ 線量率は、30秒ごとに5回の繰り返し測定による平均値です。

参考2 測定機器（市：DoseRAE2 PRM-1200 と都：アロカ TCS-166）の違い

測定値の違いについては、測定している単位が違うことから DoseRAE2 の値は若干高い値となります。

機種	単位
TCS-166	空気吸収線量率 μ Gy/h
DoseRAE2	1 c m線量当量率 μ Sv/h

DoseRAE2 は人への影響を加味した1 c m線量当量率 (μ Sv/h) で測定します。これは、ガンマ線による個人の外部被ばくを管理するための機器であり、安全側に評価するように調整されているため、実効線量より高めの数値を示します。

実際の DoseRAE2 の測定結果は、TCS-166 の結果に対して、地上1 mでは平均1.46倍、地上5 c mでの測定では、平均1.38倍でした。

※ 東京都健康安全研究センターのホームページより転載しています。詳しい情報は、同ホームページ内「区市町村の測定への支援について（機器貸与等）」をご覧ください。

参考3 測定結果から1年間の積算線量を推計できます。

《条件》

- ・ 自然放射線量は全国平均値 0.05 マイクロシーベルト毎時と仮定
- ・ 測定した場所に8時間、その場所の木造家屋内に16時間居ると仮定
- ・ 木造家屋内滞在における被ばく低減効果を60%（係数0.4）と仮定

《算式》

$(\text{測定結果} - \text{自然放射線量 } 0.05) \times (8/24 \times 1.0 + 16/24 \times 0.4) \times 24 \text{ 時間} \times 365 \text{ 日}$

市内 6 か所における空間放射線量測定結果（10/7 公表）

市内 6 箇所（市測定 5 箇所と武蔵野大学協力測定 1 箇所の合計）における放射線量の測定結果をお知らせします。

水曜日測定の中央部・田無第二中学校及び南部・武蔵野大学（協力）は雨天のため測定できませんでした。次回は 10/12 に測定予定です。

区分	測定場所	町	測定日	線量率 (マイクロシーベルト/時)	
				地上 1 m	地表面 (地上 5 c m)
北部	栄小学校	栄町	10 月 3 日(月)	0.08	0.08
東部	なかまち保育園	中町	10 月 4 日(火)	0.08	0.09
西部	田無第三中学校	西原町	10 月 6 日(木)	0.07	0.07
南西部	田無市民公園	向台町	10 月 7 日(木)	0.06	0.06

市が使用した測定機器は、DoseRAE2 PRM-1200、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 1 東京都による西東京市内の測定結果（田無第二中学校 6 月 16 日（木）測定）

地上 1 m	0.04 マイクロシーベルト/時
地表面（地上 5 c m）	0.04 マイクロシーベルト/時

都が使用した測定機器は、アロカ TCS-166、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 2 測定機器（市：DoseRAE2 PRM-1200 と都：アロカ TCS-166）の違い

測定値の違いについては、測定している単位が違うことから DoseRAE2 の値は若干高い値となります。

機種	単位
TCS-166	空気吸収線量率 $\mu\text{Gy/h}$
DoseRAE2	1 c m 線量当量率 $\mu\text{Sv/h}$

DoseRAE2 は人への影響を加味した 1 c m 線量当量率（ $\mu\text{Sv/h}$ ）で測定します。これは、ガンマ線による個人の外部被ばくを管理するための機器であり、安全側に評価するように調整されているため、実効線量より高めの数値を示します。

実際の DoseRAE2 の測定結果は、TCS-166 の結果に対して、地上 1 m では平均 1.46 倍、地上 5 c m での測定では、平均 1.38 倍でした。

東京都健康安全研究センターのホームページより転載しています。詳しい情報は、同ホームページ内「区市町村の測定への支援について（機器貸与等）」をご覧ください。

参考3 測定結果から1年間の積算線量を推計できます。

《条件》

- ・ 自然放射線量は全国平均値 0.05 マイクロシーベルト毎時と仮定
- ・ 測定した場所に 8 時間、その場所の木造家屋内に 16 時間居ると仮定
- ・ 木造家屋内滞在における被ばく低減効果を 60% (係数 0.4) と仮定

《算式》

(測定結果 - 自然放射線量 0.05) × (8 / 24 × 1.0 + 16 / 24 × 0.4) × 24 時間 × 365 日

市内 6 か所における空間放射線量測定結果（10/14 公表）

市内 6 箇所（市測定 5 箇所と武蔵野大学協力測定 1 箇所の合計）における放射線量の測定結果をお知らせします。

月曜日測定の北部・栄小学校が祝日であったため、次回は 10/17 に測定予定です。

区分	測定場所	町	測定日	線量率 (マイクロシーベルト/時)	
				地上 1 m	地表面 (地上 5 c m)
東部	なかまち保育園	中町	10 月 11 日(火)	0.07	0.09
中央部	田無第二中学校	北原町	10 月 12 日(水)	0.07	0.07
西部	田無第三中学校	西原町	10 月 13 日(木)	0.06	0.08
南西部	田無市民公園	向台町	10 月 14 日(金)	0.06	0.07
南部	武蔵野大学(協力)	新町	10 月 12 日(水)	0.06	0.06

市が使用した測定機器は、DoseRAE2 PRM-1200、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 1 東京都による西東京市内の測定結果（田無第二中学校 6 月 16 日（木）測定）

地上 1 m	0.04 マイクロシーベルト/時
地表面（地上 5 c m）	0.04 マイクロシーベルト/時

都が使用した測定機器は、アロカ TCS-166、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 2 測定機器（市：DoseRAE2 PRM-1200 と都：アロカ TCS-166）の違い

測定値の違いについては、測定している単位が違うことから DoseRAE2 の値は若干高い値となります。

機種	単位
TCS-166	空気吸収線量率 $\mu\text{Gy/h}$
DoseRAE2	1 c m 線量当量率 $\mu\text{Sv/h}$

DoseRAE2 は人への影響を加味した 1 c m 線量当量率 ($\mu\text{Sv/h}$) で測定します。これは、ガンマ線による個人の外部被ばくを管理するための機器であり、安全側に評価するように調整されているため、実効線量より高めの数値を示します。

実際の DoseRAE2 の測定結果は、TCS-166 の結果に対して、地上 1 m では平均 1.46 倍、地上 5 c m での測定では、平均 1.38 倍でした。

東京都健康安全研究センターのホームページより転載しています。詳しい情報は、同ホームページ内「区市町村の測定への支援について（機器貸与等）」をご覧ください。

参考3 測定結果から1年間の積算線量を推計できます。

《条件》

- ・ 自然放射線量は全国平均値 0.05 マイクロシーベルト毎時と仮定
- ・ 測定した場所に 8 時間、その場所の木造家屋内に 16 時間居ると仮定
- ・ 木造家屋内滞在における被ばく低減効果を 60% (係数 0.4) と仮定

《算式》

(測定結果 - 自然放射線量 0.05) × (8 / 24 × 1.0 + 16 / 24 × 0.4) × 24 時間 × 365 日

市内 6 か所における空間放射線量測定結果（10/21 公表）

市内 6 箇所（市測定 5 箇所と武蔵野大学協力測定 1 箇所の合計）における放射線量の測定結果をお知らせします。

区分	測定場所	町	測定日	線量率 (マイクロシーベルト/時)	
				地上 1 m	地表面 (地上 5 c m)
北部	栄小学校	栄町	10 月 17 日(月)	0.06	0.06
東部	なかまち保育園	中町	10 月 18 日(火)	0.07	0.09
中央部	田無第二中学校	北原町	10 月 19 日(水)	0.07	0.07
西部	田無第三中学校	西原町	10 月 20 日(木)	0.08	0.07
南西部	田無市民公園	向台町	10 月 21 日(金)	0.07	0.07
南部	武蔵野大学(協力)	新町	10 月 19 日(水)	0.07	0.07

市が使用した測定機器は、DoseRAE2 PRM-1200、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 1 東京都による西東京市内の測定結果（田無第二中学校 6 月 16 日（木）測定）

地上 1 m	0.04 マイクロシーベルト/時
地表面（地上 5 c m）	0.04 マイクロシーベルト/時

都が使用した測定機器は、アロカ TCS-166、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 2 測定機器（市：DoseRAE2 PRM-1200 と都：アロカ TCS-166）の違い

測定値の違いについては、測定している単位が違うことから DoseRAE2 の値は若干高い値となります。

機種	単位
TCS-166	空気吸収線量率 $\mu\text{Gy/h}$
DoseRAE2	1 c m 線量当量率 $\mu\text{Sv/h}$

DoseRAE2 は人への影響を加味した 1 c m 線量当量率（ $\mu\text{Sv/h}$ ）で測定します。これは、ガンマ線による個人の外部被ばくを管理するための機器であり、安全側に評価するように調整されているため、実効線量より高めの数値を示します。

実際の DoseRAE2 の測定結果は、TCS-166 の結果に対して、地上 1 m では平均 1.46 倍、地上 5 c m での測定では、平均 1.38 倍でした。

東京都健康安全研究センターのホームページより転載しています。詳しい情報は、同ホームページ内「区市町村の測定への支援について（機器貸与等）」をご覧ください。

参考3 測定結果から1年間の積算線量を推計できます。

《条件》

- ・ 自然放射線量は全国平均値 0.05 マイクロシーベルト毎時と仮定
- ・ 測定した場所に 8 時間、その場所の木造家屋内に 16 時間居ると仮定
- ・ 木造家屋内滞在における被ばく低減効果を 60% (係数 0.4) と仮定

《算式》

(測定結果 - 自然放射線量 0.05) × (8 / 24 × 1.0 + 16 / 24 × 0.4) × 24 時間 × 365 日

市内 6 か所における空間放射線量測定結果（10/28 公表）

市内 6 箇所（市測定 5 箇所と武蔵野大学協力測定 1 箇所の合計）における放射線量の測定結果をお知らせします。

区分	測定場所	町	測定日	線量率 (マイクロシーベルト/時)	
				地上 1 m	地表面 (地上 5 c m)
北部	栄小学校	栄町	10 月 24 日(月)	0.08	0.08
東部	なかまち保育園	中町	10 月 25 日(火)	0.07	0.07
中央部	田無第二中学校	北原町	10 月 26 日(水)	0.06	0.08
西部	田無第三中学校	西原町	10 月 27 日(木)	0.07	0.07
南西部	田無市民公園	向台町	10 月 28 日(金)	0.07	0.07
南部	武蔵野大学(協力)	新町	10 月 26 日(水)	0.06	0.07

市が使用した測定機器は、DoseRAE2 PRM-1200、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 1 東京都による西東京市内の測定結果（田無第二中学校 6 月 16 日（木）測定）

地上 1 m	0.04 マイクロシーベルト/時
地表面（地上 5 c m）	0.04 マイクロシーベルト/時

都が使用した測定機器は、アロカ TCS-166、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 2 測定機器（市：DoseRAE2 PRM-1200 と都：アロカ TCS-166）の違い

測定値の違いについては、測定している単位が違うことから DoseRAE2 の値は若干高い値となります。

機種	単位
TCS-166	空気吸収線量率 $\mu\text{Gy/h}$
DoseRAE2	1 c m 線量当量率 $\mu\text{Sv/h}$

DoseRAE2 は人への影響を加味した 1 c m 線量当量率（ $\mu\text{Sv/h}$ ）で測定します。これは、ガンマ線による個人の外部被ばくを管理するための機器であり、安全側に評価するように調整されているため、実効線量より高めの数値を示します。

実際の DoseRAE2 の測定結果は、TCS-166 の結果に対して、地上 1 m では平均 1.46 倍、地上 5 c m での測定では、平均 1.38 倍でした。

東京都健康安全研究センターのホームページより転載しています。詳しい情報は、同ホームページ内「区市町村の測定への支援について（機器貸与等）」をご覧ください。

参考3 測定結果から1年間の積算線量を推計できます。

《条件》

- ・ 自然放射線量は全国平均値 0.05 マイクロシーベルト毎時と仮定
- ・ 測定した場所に 8 時間、その場所の木造家屋内に 16 時間居ると仮定
- ・ 木造家屋内滞在における被ばく低減効果を 60% (係数 0.4) と仮定

《算式》

(測定結果 - 自然放射線量 0.05) × (8 / 24 × 1.0 + 16 / 24 × 0.4) × 24 時間 × 365 日

市内 6 か所における空間放射線量測定結果 (11/4 公表)

市内 6 箇所 (市測定 5 箇所と武蔵野大学協力測定 1 箇所の合計) における放射線量の測定結果をお知らせします。

木曜日測定の西部・田無第三中学校が祝日であったため、次回は 11/10 に測定予定です。

区分	測定場所	町	測定日	線量率 (マイクロシーベルト/時)	
				地上 1 m	地表面 (地上 5 c m)
北部	栄小学校	栄町	10 月 31 日(月)	0.08	0.08
東部	なかまち保育園	中町	11 月 1 日(火)	0.08	0.08
中央部	田無第二中学校	北原町	11 月 2 日(水)	0.07	0.07
南西部	田無市民公園	向台町	11 月 4 日(金)	0.06	0.06
南部	武蔵野大学(協力)	新町	11 月 2 日(水)	0.06	0.06

市が使用した測定機器は、DoseRAE2 PRM-1200、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 1 東京都による西東京市内の測定結果 (田無第二中学校 6 月 16 日(木)測定)

地上 1 m	0.04 マイクロシーベルト/時
地表面 (地上 5 c m)	0.04 マイクロシーベルト/時

都が使用した測定機器は、アロカ TCS-166、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 2 測定機器 (市 : DoseRAE2 PRM-1200 と都 : アロカ TCS-166) の違い

測定値の違いについては、測定している単位が違うことから DoseRAE2 の値は若干高い値となります。

機種	単位
TCS-166	空気吸収線量率 $\mu\text{Gy/h}$
DoseRAE2	1 c m線量当量率 $\mu\text{Sv/h}$

DoseRAE2 は人への影響を加味した 1 c m線量当量率 ($\mu\text{Sv/h}$) で測定します。これは、ガンマ線による個人の外部被ばくを管理するための機器であり、安全側に評価するように調整されているため、実効線量より高めの数値を示します。

実際の DoseRAE2 の測定結果は、TCS-166 の結果に対して、地上 1 m では平均 1.46 倍、地上 5 c mでの測定では、平均 1.38 倍でした。

東京都健康安全研究センターのホームページより転載しています。詳しい情報は、同ホームページ内「区市町村の測定への支援について (機器貸与等)」をご覧ください。

参考3 測定結果から1年間の積算線量を推計できます。

《条件》

- ・ 自然放射線量は全国平均値 0.05 マイクロシーベルト毎時と仮定
- ・ 測定した場所に 8 時間、その場所の木造家屋内に 16 時間居ると仮定
- ・ 木造家屋内滞在における被ばく低減効果を 60% (係数 0.4) と仮定

《算式》

(測定結果 - 自然放射線量 0.05) × (8 / 24 × 1.0 + 16 / 24 × 0.4) × 24 時間 × 365 日

市内 6 か所における空間放射線量測定結果（11/11 公表）

市内 6 箇所（市測定 5 箇所と武蔵野大学協力測定 1 箇所の合計）における放射線量の測定結果をお知らせします。

区分	測定場所	町	測定日	線量率 (マイクロシーベルト/時)	
				地上 1 m	地表面 (地上 5 c m)
北部	栄小学校	栄町	11 月 7 日(月)	0.07	0.08
東部	なかまち保育園	中町	11 月 8 日(火)	0.07	0.08
中央部	田無第二中学校	北原町	11 月 9 日(水)	0.07	0.07
西部	田無第三中学校	西原町	11 月 10 日(木)	0.07	0.07
南西部	田無市民公園	向台町	11 月 11 日(金)	0.07	0.07
南部	武蔵野大学(協力)	新町	11 月 9 日(水)	0.06	0.05

市が使用した測定機器は、DoseRAE2 PRM-1200、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 1 東京都による西東京市内の測定結果（田無第二中学校 6 月 16 日（木）測定）

地上 1 m	0.04 マイクロシーベルト/時
地表面（地上 5 c m）	0.04 マイクロシーベルト/時

都が使用した測定機器は、アロカ TCS-166、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 2 測定機器（市：DoseRAE2 PRM-1200 と都：アロカ TCS-166）の違い

測定値の違いについては、測定している単位が違うことから DoseRAE2 の値は若干高い値となります。

機種	単位
TCS-166	空気吸収線量率 $\mu\text{Gy/h}$
DoseRAE2	1 c m線量当量率 $\mu\text{Sv/h}$

DoseRAE2 は人への影響を加味した 1 c m線量当量率（ $\mu\text{Sv/h}$ ）で測定します。これは、ガンマ線による個人の外部被ばくを管理するための機器であり、安全側に評価するように調整されているため、実効線量より高めの数値を示します。

実際の DoseRAE2 の測定結果は、TCS-166 の結果に対して、地上 1 m では平均 1.46 倍、地上 5 c m での測定では、平均 1.38 倍でした。

東京都健康安全研究センターのホームページより転載しています。詳しい情報は、同ホームページ内「区市町村の測定への支援について（機器貸与等）」をご覧ください。

参考3 測定結果から1年間の積算線量を推計できます。

《条件》

- ・ 自然放射線量は全国平均値 0.05 マイクロシーベルト毎時と仮定
- ・ 測定した場所に 8 時間、その場所の木造家屋内に 16 時間居ると仮定
- ・ 木造家屋内滞在における被ばく低減効果を 60% (係数 0.4) と仮定

《算式》

(測定結果 - 自然放射線量 0.05) × (8 / 24 × 1.0 + 16 / 24 × 0.4) × 24 時間 × 365 日

市内 6 か所における空間放射線量測定結果（11/18 公表）

市内 6 箇所（市測定 5 箇所と武蔵野大学協力測定 1 箇所の合計）における放射線量の測定結果をお知らせします。

区分	測定場所	町	測定日	線量率 (マイクロシーベルト/時)	
				地上 1 m	地表面 (地上 5 c m)
北部	栄小学校	栄町	11 月 14 日 (月)	0.05	0.06
東部	なかまち保育園	中町	11 月 15 日 (火)	0.06	0.06
中央部	田無第二中学校	北原町	11 月 16 日 (水)	0.07	0.07
西部	田無第三中学校	西原町	11 月 17 日 (木)	0.07	0.07
南西部	田無市民公園	向台町	11 月 18 日 (金)	0.06	0.07
南部	武蔵野大学(協力)	新町	11 月 16 日 (水)	0.06	0.07

市が使用した測定機器は、DoseRAE2 PRM-1200、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 1 東京都による西東京市内の測定結果（田無第二中学校 6 月 16 日（木）測定）

地上 1 m	0.04 マイクロシーベルト/時
地表面（地上 5 c m）	0.04 マイクロシーベルト/時

都が使用した測定機器は、アロカ TCS-166、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 2 測定機器（市：DoseRAE2 PRM-1200 と都：アロカ TCS-166）の違い

測定値の違いについては、測定している単位が違うことから DoseRAE2 の値は若干高い値となります。

機種	単位
TCS-166	空気吸収線量率 $\mu\text{Gy/h}$
DoseRAE2	1 c m線量当量率 $\mu\text{Sv/h}$

DoseRAE2 は人への影響を加味した 1 c m線量当量率（ $\mu\text{Sv/h}$ ）で測定します。これは、ガンマ線による個人の外部被ばくを管理するための機器であり、安全側に評価するように調整されているため、実効線量より高めの数値を示します。

実際の DoseRAE2 の測定結果は、TCS-166 の結果に対して、地上 1 m では平均 1.46 倍、地上 5 c m での測定では、平均 1.38 倍でした。

東京都健康安全研究センターのホームページより転載しています。詳しい情報は、同ホームページ内「区市町村の測定への支援について（機器貸与等）」をご覧ください。

参考3 測定結果から1年間の積算線量を推計できます。

《条件》

- ・ 自然放射線量は全国平均値 0.05 マイクロシーベルト毎時と仮定
- ・ 測定した場所に 8 時間、その場所の木造家屋内に 16 時間居ると仮定
- ・ 木造家屋内滞在における被ばく低減効果を 60% (係数 0.4) と仮定

《算式》

(測定結果 - 自然放射線量 0.05) × (8 / 24 × 1.0 + 16 / 24 × 0.4) × 24 時間 × 365 日

市内 6 か所における空間放射線量測定結果（11/25 公表）

市内 6 箇所（市測定 5 箇所と武蔵野大学協力測定 1 箇所の合計）における放射線量の測定結果をお知らせします。

水曜日測定の中央部・田無第二中学校及び南部・武蔵野大学（協力）が祝日であったため、次回は 11/30 に測定予定です。

区分	測定場所	町	測定日	線量率 (マイクロシーベルト/時)	
				地上 1 m	地表面 (地上 5 c m)
北部	栄小学校	栄町	11 月 21 日 (月)	0.08	0.07
東部	なかまち保育園	中町	11 月 22 日 (火)	0.07	0.09
西部	田無第三中学校	西原町	11 月 24 日 (木)	0.08	0.07
南西部	田無市民公園	向台町	11 月 25 日 (金)	0.07	0.07

市が使用した測定機器は、DoseRAE2 PRM-1200、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 1 東京都による西東京市内の測定結果（田無第二中学校 6 月 16 日（木）測定）

地上 1 m	0.04 マイクロシーベルト/時
地表面（地上 5 c m）	0.04 マイクロシーベルト/時

都が使用した測定機器は、アロカ TCS-166、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 2 測定機器（市：DoseRAE2 PRM-1200 と都：アロカ TCS-166）の違い

測定値の違いについては、測定している単位が違うことから DoseRAE2 の値は若干高い値となります。

機種	単位
TCS-166	空気吸収線量率 $\mu\text{Gy/h}$
DoseRAE2	1 c m 線量当量率 $\mu\text{Sv/h}$

DoseRAE2 は人への影響を加味した 1 c m 線量当量率（ $\mu\text{Sv/h}$ ）で測定します。これは、ガンマ線による個人の外部被ばくを管理するための機器であり、安全側に評価するように調整されているため、実効線量より高めの数値を示します。

実際の DoseRAE2 の測定結果は、TCS-166 の結果に対して、地上 1 m では平均 1.46 倍、地上 5 c m での測定では、平均 1.38 倍でした。

東京都健康安全研究センターのホームページより転載しています。詳しい情報は、同ホームページ内「区市町村の測定への支援について（機器貸与等）」をご覧ください。

参考3 測定結果から1年間の積算線量を推計できます。

《条件》

- ・ 自然放射線量は全国平均値 0.05 マイクロシーベルト毎時と仮定
- ・ 測定した場所に 8 時間、その場所の木造家屋内に 16 時間居ると仮定
- ・ 木造家屋内滞在における被ばく低減効果を 60% (係数 0.4) と仮定

《算式》

(測定結果 - 自然放射線量 0.05) × (8 / 24 × 1.0 + 16 / 24 × 0.4) × 24 時間 × 365 日

市内 6 か所における空間放射線量測定結果 (12/ 2 公表)

市内 6 箇所 (市測定 5 箇所と武蔵野大学協力測定 1 箇所の合計) における放射線量の測定結果をお知らせします。

区分	測定場所	町	測定日	線量率 (マイクロシーベルト/時)	
				地上 1 m	地表面 (地上 5 c m)
北部	栄小学校	栄町	11 月 28 日 (月)	0.09	0.08
東部	なかまち保育園	中町	11 月 29 日 (火)	0.07	0.08
中央部	田無第二中学校	北原町	11 月 30 日 (水)	0.07	0.07
西部	田無第三中学校	西原町	12 月 1 日 (木)	0.07	0.09
南西部	田無市民公園	向台町	12 月 2 日 (金)	0.08	0.08
南部	武蔵野大学(協力)	新町	11 月 30 日 (水)	0.06	0.06

市が使用した測定機器は、DoseRAE2 PRM-1200、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 1 東京都による西東京市内の測定結果 (田無第二中学校 6 月 16 日 (木) 測定)

地上 1 m	0.04 マイクロシーベルト/時
地表面 (地上 5 c m)	0.04 マイクロシーベルト/時

都が使用した測定機器は、アロカ TCS-166、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 2 測定機器 (市 : DoseRAE2 PRM-1200 と都 : アロカ TCS-166) の違い

測定値の違いについては、測定している単位が違うことから DoseRAE2 の値は若干高い値となります。

機種	単位
TCS-166	空気吸収線量率 $\mu\text{Gy/h}$
DoseRAE2	1 c m 線量当量率 $\mu\text{Sv/h}$

DoseRAE2 は人への影響を加味した 1 c m 線量当量率 ($\mu\text{Sv/h}$) で測定します。これは、ガンマ線による個人の外部被ばくを管理するための機器であり、安全側に評価するように調整されているため、実効線量より高めの数値を示します。

実際の DoseRAE2 の測定結果は、TCS-166 の結果に対して、地上 1 m では平均 1.46 倍、地上 5 c m での測定では、平均 1.38 倍でした。

東京都健康安全研究センターのホームページより転載しています。詳しい情報は、同ホームページ内「区市町村の測定への支援について (機器貸与等)」をご覧ください。

参考3 測定結果から1年間の積算線量を推計できます。

《条件》

- ・ 自然放射線量は全国平均値 0.05 マイクロシーベルト毎時と仮定
- ・ 測定した場所に 8 時間、その場所の木造家屋内に 16 時間居ると仮定
- ・ 木造家屋内滞在における被ばく低減効果を 60% (係数 0.4) と仮定

《算式》

(測定結果 - 自然放射線量 0.05) × (8 / 24 × 1.0 + 16 / 24 × 0.4) × 24 時間 × 365 日

市内 6 か所における空間放射線量測定結果（12/9 公表）

市内 6 箇所（市測定 5 箇所と武蔵野大学協力測定 1 箇所の合計）における放射線量の測定結果をお知らせします。なお、金曜日測定の南西部・田無市民公園は雪のため測定できませんでした。次回は 12/16 に測定予定です。

区分	測定場所	町	測定日	線量率 (マイクロシーベルト/時)	
				地上 1 m	地表面 (地上 5 c m)
北部	栄小学校	栄町	12 月 5 日 (月)	0.08	0.08
東部	なかまち保育園	中町	12 月 6 日 (火)	0.06	0.08
中央部	田無第二中学校	北原町	12 月 7 日 (水)	0.08	0.08
西部	田無第三中学校	西原町	12 月 8 日 (木)	0.11	0.12
南部	武蔵野大学(協力)	新町	12 月 7 日 (水)	0.07	0.07

市が使用した測定機器は、DoseRAE2 PRM-1200、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 1 東京都による西東京市内の測定結果（田無第二中学校 6 月 16 日（木）測定）

地上 1 m	0.04 マイクロシーベルト/時
地表面（地上 5 c m）	0.04 マイクロシーベルト/時

都が使用した測定機器は、アロカ TCS-166、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 2 測定機器（市：DoseRAE2 PRM-1200 と都：アロカ TCS-166）の違い

測定値の違いについては、測定している単位が違うことから DoseRAE2 の値は若干高い値となります。

機種	単位
TCS-166	空気吸収線量率 $\mu\text{Gy/h}$
DoseRAE2	1 c m線量当量率 $\mu\text{Sv/h}$

DoseRAE2 は人への影響を加味した 1 c m線量当量率 ($\mu\text{Sv/h}$) で測定します。これは、ガンマ線による個人の外部被ばくを管理するための機器であり、安全側に評価するように調整されているため、実効線量より高めの数値を示します。

実際の DoseRAE2 の測定結果は、TCS-166 の結果に対して、地上 1 m では平均 1.46 倍、地上 5 c m での測定では、平均 1.38 倍でした。

東京都健康安全研究センターのホームページより転載しています。詳しい情報は、同ホームページ内「区市町村の測定への支援について（機器貸与等）」をご覧ください。

参考3 測定結果から1年間の積算線量を推計できます。

《条件》

- ・ 自然放射線量は全国平均値 0.05 マイクロシーベルト毎時と仮定
- ・ 測定した場所に 8 時間、その場所の木造家屋内に 16 時間居ると仮定
- ・ 木造家屋内滞在における被ばく低減効果を 60% (係数 0.4) と仮定

《算式》

(測定結果 - 自然放射線量 0.05) × (8 / 24 × 1.0 + 16 / 24 × 0.4) × 24 時間 × 365 日

市内 6 か所における空間放射線量測定結果（12/16 公表）

市内 6 箇所（市測定 5 箇所と武蔵野大学協力測定 1 箇所の合計）における放射線量の測定結果をお知らせします。

区分	測定場所	町	測定日	線量率 (マイクロシーベルト/時)	
				地上 1 m	地表面 (地上 5 c m)
北部	栄小学校	栄町	12 月 12 日 (月)	0.07	0.09
東部	なかまち保育園	中町	12 月 13 日 (火)	0.08	0.08
中央部	田無第二中学校	北原町	12 月 14 日 (水)	0.09	0.08
西部	田無第三中学校	西原町	12 月 15 日 (木)	0.08	0.08
南西部	田無市民公園	向台町	12 月 16 日 (金)	0.07	0.07
南部	武蔵野大学(協力)	新町	12 月 14 日 (水)	0.08	0.07

市が使用した測定機器は、DoseRAE2 PRM-1200、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 1 東京都による西東京市内の測定結果（田無第二中学校 6 月 16 日（木）測定）

地上 1 m	0.04 マイクロシーベルト/時
地表面（地上 5 c m）	0.04 マイクロシーベルト/時

都が使用した測定機器は、アロカ TCS-166、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 2 測定機器（市：DoseRAE2 PRM-1200 と都：アロカ TCS-166）の違い

測定値の違いについては、測定している単位が違うことから DoseRAE2 の値は若干高い値となります。

機種	単位
TCS-166	空気吸収線量率 $\mu\text{Gy/h}$
DoseRAE2	1 c m 線量当量率 $\mu\text{Sv/h}$

DoseRAE2 は人への影響を加味した 1 c m 線量当量率 ($\mu\text{Sv/h}$) で測定します。これは、ガンマ線による個人の外部被ばくを管理するための機器であり、安全側に評価するように調整されているため、実効線量より高めの数値を示します。

実際の DoseRAE2 の測定結果は、TCS-166 の結果に対して、地上 1 m では平均 1.46 倍、地上 5 c m での測定では、平均 1.38 倍でした。

東京都健康安全研究センターのホームページより転載しています。詳しい情報は、同ホームページ内「区市町村の測定への支援について（機器貸与等）」をご覧ください。

参考3 測定結果から1年間の積算線量を推計できます。

《条件》

- ・ 自然放射線量は全国平均値 0.05 マイクロシーベルト毎時と仮定
- ・ 測定した場所に 8 時間、その場所の木造家屋内に 16 時間居ると仮定
- ・ 木造家屋内滞在における被ばく低減効果を 60% (係数 0.4) と仮定

《算式》

(測定結果 - 自然放射線量 0.05) × (8 / 24 × 1.0 + 16 / 24 × 0.4) × 24 時間 × 365 日

市内 6 か所における空間放射線量測定結果（12/22 公表）

市内 6 箇所（市測定 5 箇所と武蔵野大学協力測定 1 箇所の合計）における放射線量の測定結果をお知らせします。

金曜日測定の南西部・田無市民公園が祝日であるため、次回は 1/6 に測定予定です。

区分	測定場所	町	測定日	線量率 (マイクロシーベルト/時)	
				地上 1 m	地表面 (地上 5 c m)
北部	栄小学校	栄町	12 月 19 日(月)	0.08	0.09
東部	なかまち保育園	中町	12 月 20 日(火)	0.07	0.08
中央部	田無第二中学校	北原町	12 月 21 日(水)	0.06	0.07
西部	田無第三中学校	西原町	12 月 22 日(木)	0.08	0.09
南部	武蔵野大学(協力)	新町	12 月 21 日(水)	0.08	0.07

市が使用した測定機器は、DoseRAE2 PRM-1200、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 1 東京都による西東京市内の測定結果（田無第二中学校 6 月 16 日(木)測定）

地上 1 m	0.04 マイクロシーベルト/時
地表面(地上 5 c m)	0.04 マイクロシーベルト/時

都が使用した測定機器は、アロカ TCS-166、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 2 測定機器（市：DoseRAE2 PRM-1200 と都：アロカ TCS-166）の違い

測定値の違いについては、測定している単位が違うことから DoseRAE2 の値は若干高い値となります。

機種	単位
TCS-166	空気吸収線量率 $\mu\text{Gy/h}$
DoseRAE2	1 c m線量当量率 $\mu\text{Sv/h}$

DoseRAE2 は人への影響を加味した 1 c m線量当量率 ($\mu\text{Sv/h}$) で測定します。これは、ガンマ線による個人の外部被ばくを管理するための機器であり、安全側に評価するように調整されているため、実効線量より高めの数値を示します。

実際の DoseRAE2 の測定結果は、TCS-166 の結果に対して、地上 1 m では平均 1.46 倍、地上 5 c mでの測定では、平均 1.38 倍でした。

東京都健康安全研究センターのホームページより転載しています。詳しい情報は、同ホームページ内「区市町村の測定への支援について（機器貸与等）」をご覧ください。

参考3 測定結果から1年間の積算線量を推計できます。

《条件》

- ・ 自然放射線量は全国平均値 0.05 マイクロシーベルト毎時と仮定
- ・ 測定した場所に 8 時間、その場所の木造家屋内に 16 時間居ると仮定
- ・ 木造家屋内滞在における被ばく低減効果を 60% (係数 0.4) と仮定

《算式》

(測定結果 - 自然放射線量 0.05) × (8 / 24 × 1.0 + 16 / 24 × 0.4) × 24 時間 × 365 日

市内 6 か所における空間放射線量測定結果（12/28 公表）

市内 6 箇所（市測定 5 箇所と武蔵野大学協力測定 1 箇所の合計）における放射線量の測定結果をお知らせします。

区分	測定場所	町	測定日	線量率 (マイクロシーベルト/時)	
				地上 1 m	地表面 (地上 5 c m)
北部	栄小学校	栄町	12 月 26 日 (月)	0.08	0.08
東部	なかまち保育園	中町	12 月 27 日 (火)	0.07	0.08
中央部	田無第二中学校	北原町	12 月 28 日 (水)	0.07	0.09
南部	武蔵野大学(協力)	新町	12 月 28 日 (水)	0.07	0.06

市が使用した測定機器は、DoseRAE2 PRM-1200、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 1 東京都による西東京市内の測定結果（田無第二中学校 6 月 16 日（木）測定）

地上 1 m	0.04 マイクロシーベルト/時
地表面（地上 5 c m）	0.04 マイクロシーベルト/時

都が使用した測定機器は、アロカ TCS-166、測定線種はガンマ線です。

線量率は、30 秒ごとに 5 回の繰り返し測定による平均値です。

参考 2 測定機器（市：DoseRAE2 PRM-1200 と都：アロカ TCS-166）の違い

測定値の違いについては、測定している単位が違うことから DoseRAE2 の値は若干高い値となります。

機種	単位
TCS-166	空気吸収線量率 $\mu\text{Gy/h}$
DoseRAE2	1 c m 線量当量率 $\mu\text{Sv/h}$

DoseRAE2 は人への影響を加味した 1 c m 線量当量率 ($\mu\text{Sv/h}$) で測定します。これは、ガンマ線による個人の外部被ばくを管理するための機器であり、安全側に評価するように調整されているため、実効線量より高めの数値を示します。

実際の DoseRAE2 の測定結果は、TCS-166 の結果に対して、地上 1 m では平均 1.46 倍、地上 5 c m での測定では、平均 1.38 倍でした。

東京都健康安全研究センターのホームページより転載しています。詳しい情報は、同ホームページ内「区市町村の測定への支援について（機器貸与等）」をご覧ください。

参考 3 測定結果から 1 年間の積算線量を推計できます。

《条件》

- ・ 自然放射線量は全国平均値 0.05 マイクロシーベルト毎時と仮定
- ・ 測定した場所に 8 時間、その場所の木造家屋内に 16 時間居ると仮定
- ・ 木造家屋内滞在における被ばく低減効果を 60% (係数 0.4) と仮定

《算式》

(測定結果 - 自然放射線量 0.05) × (8 / 24 × 1.0 + 16 / 24 × 0.4) × 24 時間 × 365 日